

## 平成 20 年度第 2 回北九州市立図書館協議会 議事録

### 1 会 議 名

平成 20 年度第 2 回北九州市立図書館協議会

### 2 議 題

#### (1) 「八幡西区の図書館整備について」

－基本コンセプトと主な導入機能について－（非公開）

### 3 開 催 日 時

平成 20 年 10 月 24 日（金）

10 時 00 分～11 時 30 分

### 4 開 催 場 所

北九州市立中央図書館内

視聴覚センター第 2 会議室

### 5 出席者氏名 委員（10 名：敬称略）

会長 棚次 奎介（北九州市立大学基盤教育センター教授）

勝山 優子（北九州市学校図書館協議会委員）

有益 節子（北九州市私立幼稚園連盟理事）

高良 美保（北九州市 P T A 協議会理事）

長谷川英代（北九州市 A V E の会副会長）

服部多恵子（北九州市社会教育委員）

高井眞紀子（BUCH北九州 絵本とおはなしの会）

佐山 幸子（北九州児童文化連盟理事）

高畠登美子（成人読書会「四季」副会長）

福嶋 真一（北九州青年会議所広報委員会）

### 6 会議経過（発言内容要旨）

#### (1) 「八幡西区の図書館整備について」

(事務局より資料に沿って説明)

会 長 副都心ということもあり、中央図書館の次に広い規模である。また、在来型の図書館ではなく、新しい要素を入れた図書館であるべき。そうした部分は、ゾーン構成などに具体的に織り込まれていくと思う。

事務局 市民団体等から聴取した意見では、CD や DVD の視聴コーナーの設置や、子どもが騒いでも出て行けと言われない雰囲気づくりなどの要望があった。このため、一つの考え方として、お話ルームなどを示したものである。

委 員 意見聴取にあたり、こういう趣旨で八幡西区に新しい図書館を整備する、というようなことは説明したのか。

事務局 調査にあたっては、これまでの経過や延床面積 3,500 m<sup>2</sup>程度という規模のほか、市民の皆さまのご意見を広く伺いたいので調査にご協力ください、という趣旨の文書をつけている。

会 長 情報センターゾーンの生活情報コーナーは、健康・ビジネス情報の提供ということだが、生活に関わる情報ということでいえば、情報というものを広く捉えて、例えば、市政情報などの資料も揃えても問題はないと思う。

委 員 未来づくりゾーンは子どもや青少年向けになっているようだが、食に関する問題など、未来のために地球的規模で人類が取り組まなくてはならないことに関するコーナーはどこに入るのか。どういう意味の未来づくりか。

事務局 未来づくりゾーンは子育て夢図書館として、子どもたちの将来に向けた夢づくりという意味合いである。

委 員 他にはないような、あの図書館に行ったら夢が描けるぞ、夢が持てるぞ、という新しいゾーンができないのか。

事務局 未来づくりゾーンは、市が「子育て日本一」「教育日本一」と打ち出していることを踏まえ、子どもを主役としたゾーンと考えているが、大人も夢をもてる、将来的な課題を考える未来づくりということも必要である。ゾーン編成は、そうした視点も入れ、いろいろなご意見も踏まえて、今後も検討したい。

会 長 未来づくりゾーンだけが「子育て夢図書館」という別称があるが、これは区画として独立させるような意図があるのか。

事務局 そうではなく、施設の中でゾーン構成を工夫し、できる限り来館しやすい雰囲気づくりをしたいと考えているため、別称をつけたものである。

会 長 この図書館の一部に、既存の「こどもと母のとしょかん」が持つ役割を持たせるとい位置付けか。

事務局 機能の一部に、そうした役割を持つことになる。

委 員 レファレンスは非常に重要なので、例えば、何でも教えてくれるようなコーナーを作ってはどうか。

事務局 レファレンスは、センターゾーンに総合案内的なものを1つ、それから、未来づくりゾーンに子ども専用のレファレンスを設けるなどして、充実させたいと考えている。

会 長 市民協働による図書館運営ということが書いてあるが、市民参加ということを強調した方がよい。

事務局 サークル活動の支援や民間ボランティアの起用、市民が図書館と一緒に企画など、市民と図書館とをつなぐ工夫が必要になる。

委員 みんなで本を見て、話し合っ、活動につなげることができればいい。

委員 本を一人で見て終わりじゃなくて、その後の展開を生むような広がりがあるといい。

事務局 ソーン分けすると区切られたイメージがあるが、きれいに区切るということではない。全体のコンセプトとしては、高齢者の方も夢が描けるような形にしたい。

会長 各種講座を開催する多目的会議室は、大きな部屋をボンと置くのではなく、雰囲気のある会議室とか、人が集まれるような場所にするとか、いろいろな考え方ができる。

事務局 会議室は、使い方にあわせて、広さや配色、パーテーションなどの整備上の工夫を設計の中でつめていきたい。

今回、市民団体等に意見を聴取して、方向性だけは示させていただいたが、もう少し、専門家やいろいろな方に意見を聞き、中身を詰めないといけない。現段階では、特色として、子育てを少し前面に出している。

委員 育児書があるだけでは駄目だ。育児で悩んでいる親がたくさんいる。井戸端会議ができるような場所を設定することが、本当の子育て支援になる。

会長 従来の図書館サービスだけでなく、もう少し多機能な図書館となるべき。しかし、多機能にしすぎるとコンセプトも薄らいでしまう。やはり、図書館というのは、読書というものを基本に置かないといけない。

事務局 ソフトについては、今の段階から大切だと思っているので、何を入れていくか検討していく。

会長 水巻町図書館では、学習コーナーと別に、調べものコーナーが整備されているが、資料やデータを調べたりできる、そうしたコーナーはないのか。

事務局 コーナーがいいか、個室がいいかは、考え方ややり方があると思う。現段階では、一般的に広く使えるような学習コーナーを想定している。

会 長 水巻町図書館には畳敷きの部屋がある。それはそれで、1つの空間を持っていて、雰囲気がある。そういうものがあってもいいと思う。

机と椅子があればそれで学習コーナーだという、そういう位置付けの学習コーナーは、もう少し工夫する必要がある。

事務局 市外の図書館では、例えば、畳の上に机を置いて勉強できるなど、それぞれで工夫されているので、いいところ取りをしていきたい。

会 長 大きな表示をつけるなど配架を工夫して、ここはこういう図書を置いているというように、分かりやすくしてほしい。図書の分類に従って配架しても、ものすごく分かりにくい。

事務局 それはよく言われる。書店を参考にするなどして分かりやすくしたい。

会 長 施設内空間に対する市民団体等からの意見は、現段階で反映しているのか。

事務局 概ね検討して、大体整理している。ただ、例えば、カフェを図書館につくるのか、共有スペースにつくるのか、まだ整理していない。建物自体は、図書館だけではなく、ホールとの兼ね合いもあるので、関係部局と整理していきたい。

委 員 運営面、例えば、開館時間を何時までにするか、返却日をどのように設定するか、などのサービスについての意見は、どの段階で反映するのか。

事務局 サービスや機能については、市立図書館全体としてどうしていくのか、これからの検討になる。

会 長 ほかにご意見がなければ、本日示された資料を了承してよいと思う。若干、手直しが  
必要と思うので、それはお任せいただきたい。

以上で、本日の議題は終了する。

事務局：  
北九州市教育委員会生涯学習課  
TEL 093-582-2385